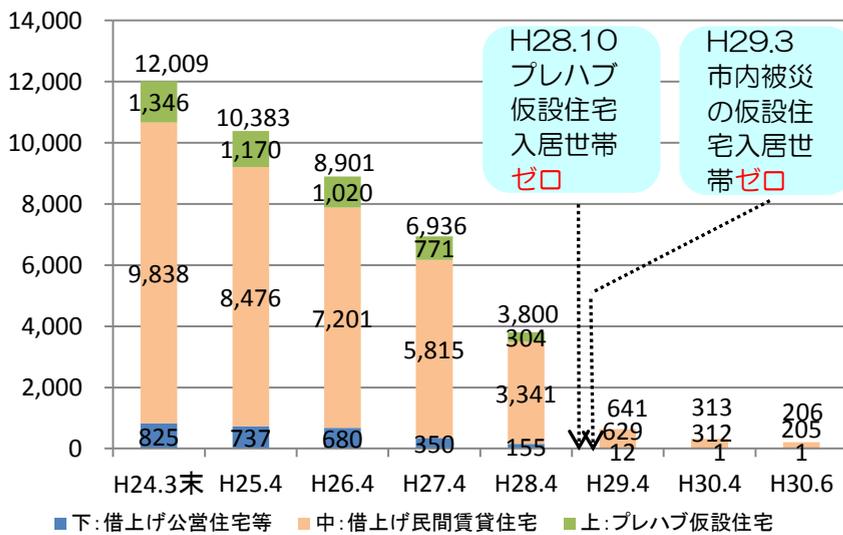




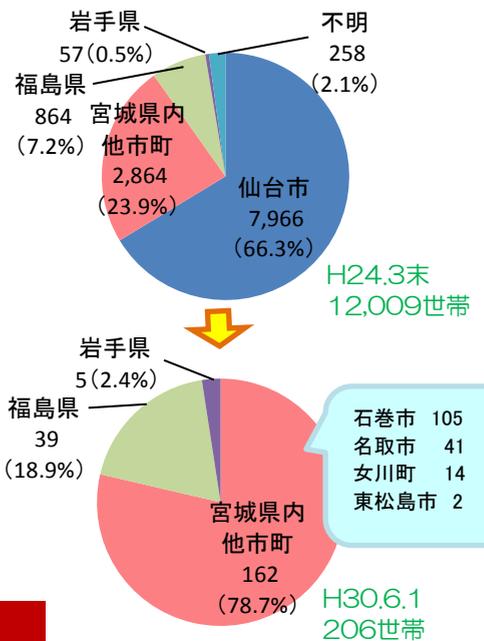
## 入居世帯の推移と震災時の居住地別入居状況

- ・市内の仮設住宅入居世帯は206世帯となり、ピーク時（平成24年3月末）の1.7%まで減少しています。
- ・市内で被災された世帯は平成29年3月末までに全て再建され、仮設住宅には市外で被災された世帯のみが入居されています。
- ・プレハブ仮設住宅は平成29年3月末までに全て解体され、市内の仮設住宅入居世帯は全て、借上げ民間賃貸住宅等の「みなし仮設住宅」に入居されています。

入居世帯の推移



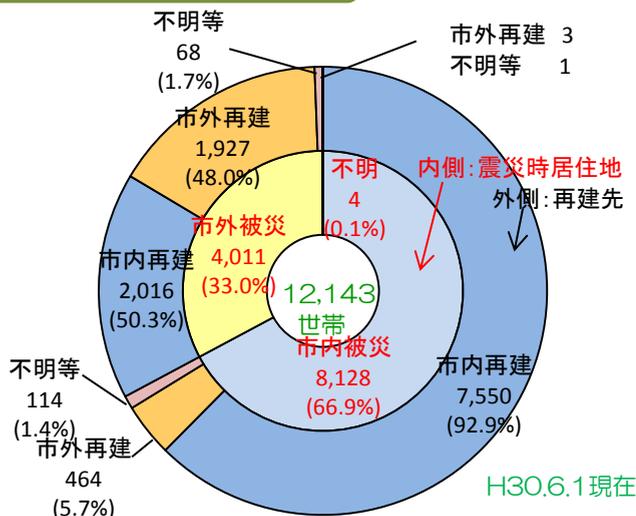
震災時の居住地別入居状況



## 入居世帯の住まいの再建

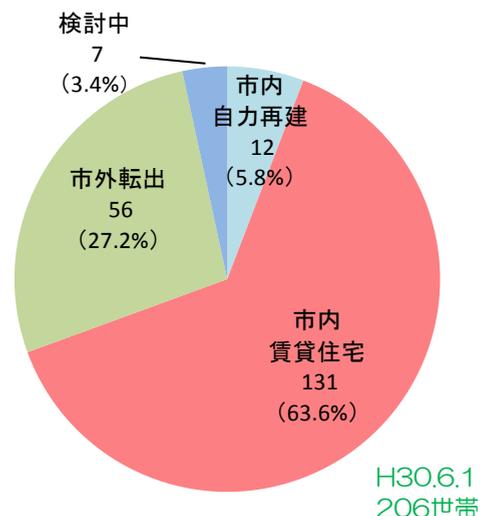
- ・これまで再建された世帯のうち、約79%の世帯が仙台市内で再建されています。（市内被災世帯の約93%、市外被災世帯の約50%が仙台市内で再建）
- ・現在仮設住宅に入居されている世帯のうち、約69%の世帯が仙台市内での再建を希望されています。

震災時の居住地別再建状況



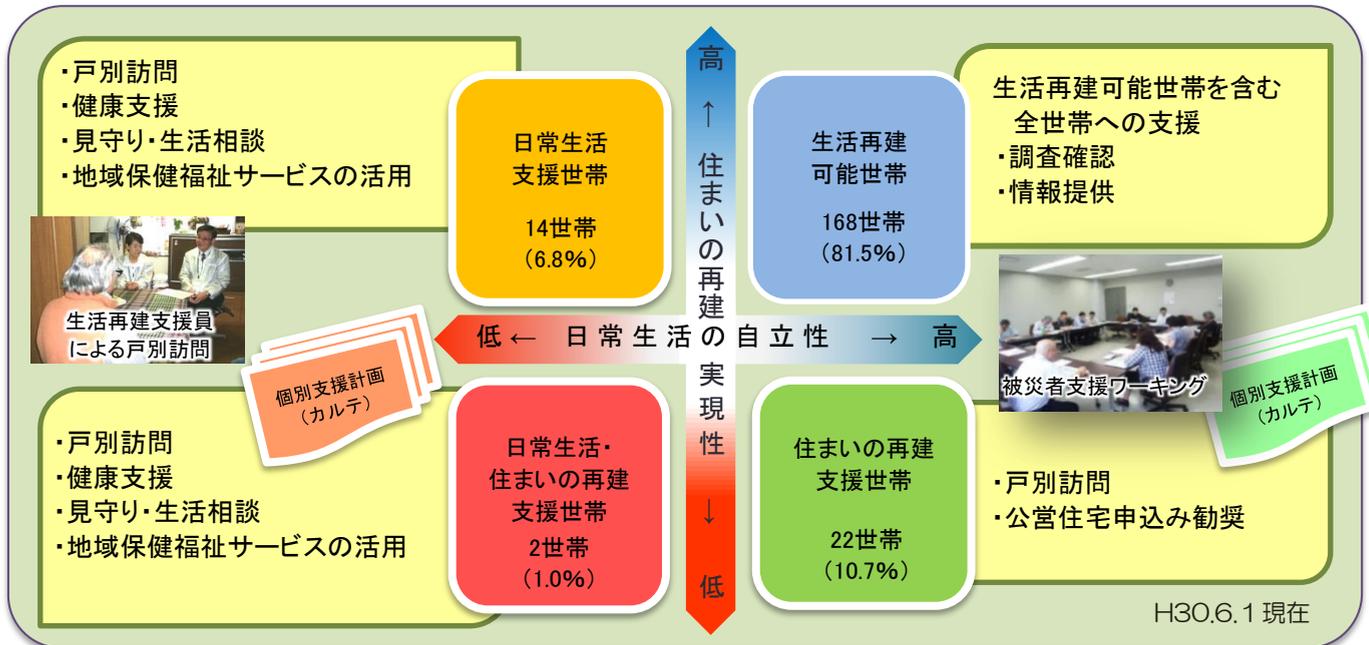
※H24.3末(ピーク時)以前に再建した世帯を含む。

仮設住宅入居世帯の再建方針



# 入居世帯への支援

新たな生活の場へ供与期間内に確実に移行できるよう、戸別訪問等を通じて課題を抱える世帯に対する移行支援に取り組んでいます。



## ● つなぐ・つながる ～復興公営住宅から生まれる地域コミュニティの輪～ ●

市内各地の復興公営住宅では、入居当初、お隣さんの顔も名前も分からないといった段階から、サロンの開催や団地内清掃作業等を通じて、住民同士のコミュニティが徐々にできあがっています。

なかには、地域の様々な団体とつながることで、活動の輪が団地から地域へと、広がりを見せている団地もあります。

### 新田東復興公営住宅「カラオケ交流会」

新田東市営住宅の住民自治会では、毎月1回、近所の有料老人ホーム「ツクイ・サンシャイン仙台」の1階・地域交流スペースを会場に、ホームの入居者の皆さんと一緒に「カラオケ交流会」を開いています。

最初はみんな恥ずかしがって歌えなかったけど、今じゃすっかり顔なじみで、一緒に歌うんだ



明るくて広々していて、設備もいいよね

#### 活動のきっかけは・・・

会長の佐藤弘行さんは、「団地みんなが参加できるイベントを開きたいけど、集会所が狭くて大勢では入れない」と悩んでいました。

ホームを運営する(株)ツクイのエリアサービスコーディネーター・今井儀さんは、「ご入居されている皆さんに地域との交流を持ってほしい」と考えていました。

そんなお二人の思いを、宮城野区社会福祉協議会CSWの小川さんがつなげることで、活動が始まりました。



佐藤弘行さん



今井儀さん

#### つなぐ・つながるプロジェクト

仙台市社会福祉協議会と仙台市では、復興公営住宅の各自治会同士の交流や、様々な支援団体とつなぐことで、地域コミュニティの活性化を後押ししています。